

令和7年度（2025年度）

小学生すくすくウォッチ（第5・6学年）豊中市の結果分析

令和7年（2025年）11月 豊中市教育委員会



豊中市キャラクター マチカネくん

今年4月16日から4月24日にかけて実施された小学生すくすくウォッチについて、豊中市の児童のみなさんの調査結果の概要がまとまりましたので、お知らせいたします。

●目的

子どもたち一人ひとりが自らの強み等を知り、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの社会を生き抜く力を着実につける。

●対象学年・参加児童数

第5学年：豊中市 3,625人 大阪府 65,527人

第6学年：豊中市 3,569人 大阪府 65,229人

●実施内容

第5学年：国語・算数・理科・わくわく問題（教科横断型問題）・アンケート

第6学年：わくわく問題（教科横断型問題）・アンケート

●各教科・わくわく問題（教科横断型問題）の出題内容及びアンケート内容について

国語：言語能力・読解力の基礎となる、基礎的基本的な言葉等の理解を問う問題

文章に書かれている意味を正確に捉える力（リーディングスキル）をはかる問題

算数：関数・数と計算・図形に関する基礎的な知識技能、数学的な表現や意味理解、日常の事象を数学的に処理する技能を問う問題

理科：理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことや、その結果を数学的に表したり、分析したことを記述したりする問題

わくわく問題（教科横断型問題）

教科の枠を超えた日常の活動や現代的な諸課題（SDGs、プログラミング的思考）等をテーマにした問題

文章やグラフ、リーフレット等の様々な資料を題材としている。

問題をつかみ、資料を読み取ったり思考したりして、自分の考えを表現する力を問う問題

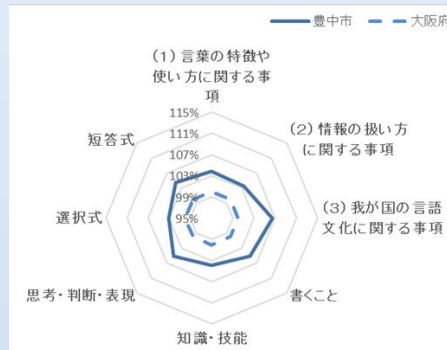
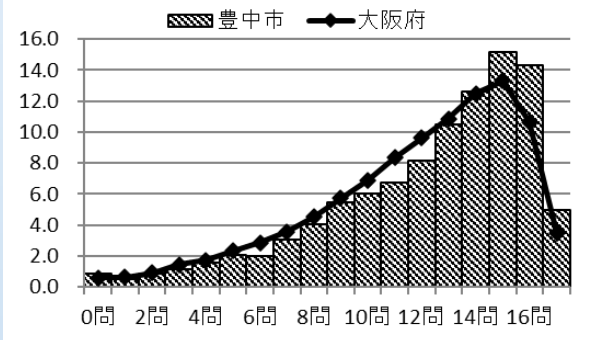
アンケート

非認知能力である「未来に向かう力」と「好奇心」の一人ひとりの状況がわかる様々な問い方に基づく項目等



第5学年
国語

※横軸は児童の正答数、
縦軸は児童の割合を
示しています。



分類	区分	平均正答率 (%)	
		大阪府	豊中市
学習指導要領の領域等	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	72.4	75.2
	(2) 情報の扱い方にに関する事項	68.9	71.4
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	21.9	23.3
評価の観点	書くこと	69.1	72.7
	知識・技能	69.2	71.9
	思考・判断・表現	69.1	72.7
問題形式	選択式	65.9	67.9
	短答式	72.2	75.5

- 文を正しく理解し、指示語の指示内容をとらえる問題（問7）や文中の助詞を正しく使う問題（問2）等については、概ね良好です。
- 文の中における修飾語と被修飾語の関係を捉えて、文の内容を正しく理解する問題（問12（1））については、課題が見られます。
- 日常で使うローマ字を正しく書く問題（問4）についても、課題が見られます。

※準正答を含めた平均正答率
を正答率と表記しています。

課題があった問題12（1）

■文の中における修飾語と被修飾語の関係を捉えて、文の内容を正しく理解する問題

正答	解答類型	大阪府	豊中市
	1 1 と解答しているもの	5.8%	4.4%
◎	2 2 と解答しているもの	76.9%	75.9%
	3 3 と解答しているもの	2.8%	2.1%
	4 4 と解答しているもの	2.5%	1.4%
	9 上記以外の解答	0.1%	0.0%
	0 無解答	11.9%	16.2%

4 3 2 1
水筒 リュック
シート サック
空

問12 (1) 次の(1)と(2)の文や文章を読んで、それぞれあとの問いに答えましょう。
晴れた空の下、青い大きなシートに座り、リュックサックから出した水筒のお茶を飲んだ。
問1 — 部の言葉が説明している言葉は何ですか。次の1から4までの中から一つ選びましょう。

＜解説＞
修飾語・被修飾語など言葉の意味の理解が不足していたり、言葉と言葉のつながりや修飾語と被修飾語の関係をあまり意識していないことが考えられます。
これから学習においては、音読しながら言葉と言葉のつながりを意識したり、修飾語と被修飾語の関係を捉えるなどして学習することが大切です。

(正答) 2

課題があった問題4

■日常で使うローマ字を正しく書く問題

正答	解答類型	大阪府	豊中市
◎	1 「Ôita」、「Oita」または「Ooita」と解答しているもの ※すべて大文字で書いているものを含む【正答】	29.9%	28.8%
○	2 「おおい」と読めるが、大文字と小文字の使い分けが不適切なもの【準正答】	46.1%	49.8%
	9 上記以外の解答	16.9%	14.6%
	0 無解答	7.1%	6.8%

大分 ⇒

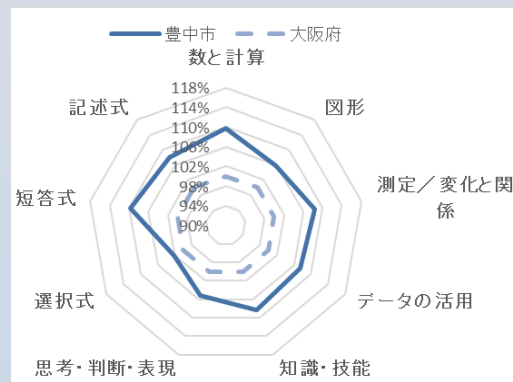
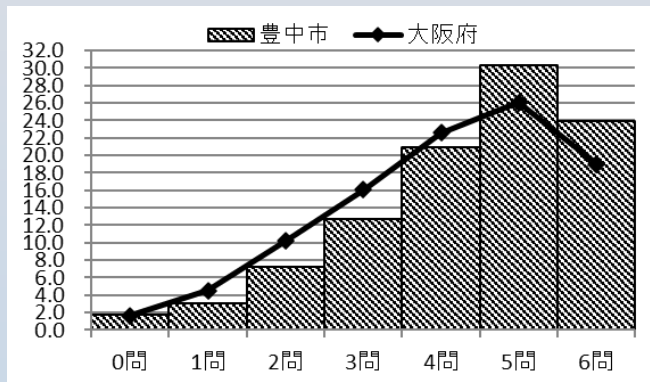
＜解説＞
文の書き始めや固有名称の語頭を大文字で書くことに慣れていない可能性があります。
これから学習においては、文の書き始めや固有名称の大文字と小文字の使い分けを意識することが大切です。また、「O」を活用してタイピングの練習をすべし、ローマ字を使い慣れるように心がけましょう。

(正答)
「Ôita」、「Oita」または「Ooita」

④ 次の都道府県名を正しくローマ字で書きましょう。

第5学年 算数

※横軸は児童の正答数
縦軸は児童の割合を
示しています。



分類	区分	平均正答率 (%)	
		大阪府	豊中市
学習指導要領の領域	数と計算	72.1	79.1
	図形	75.6	80.0
	測定/変化と関係	54.8	59.4
	データの活用	63.0	67.8
評価の観点	知識・技能	66.1	71.6
	思考・判断・表現	69.8	73.4
問題形式	選択式	68.4	70.0
	短答式	72.9	80.0
	記述式	62.5	67.4

- 二つの折れ線グラフから、家で飼われている犬とネコの数の差が最も大きい年と、その差を求める問題（問2（2））については、概ね良好です。
- 図形を構成する要素の位置関係に着目して、2種類の三角定規を組み合わせてつくることのできる図形を考える問題（問1（3））については、課題が見られます。

課題があった問題 1（3）

■図形を構成する要素の位置関係に着目して、2種類の三角定規を組み合わせてつくることのできる図形を考える問題

- ① 学校のおたのしみ会に向けて、けんたさんたちの学年は、校内の看板に使うかざりを作ることになりました。けんたさんたちは、どんなかざりを作ればよいか、クラスで考えています。



いろいろな形を使って、たくさんのかざりを作ろう。

【看板の完成図】

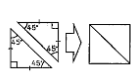


- (3) おたのしみ会の準備で、しほさんとけんたさんは、体育館の入口に置く看板の担当になりました。2人は看板のかざりつけをしています。

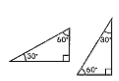


形を組み合わせると、もっときれいなかざりができそうだね。

45°、45°、90°の同じ大きさの直角三角形を2まい組み合わせれば、2色でできた正方形のかざりになるよ。



同じように、30°、60°、90°の同じ大きさの直角三角形を2まい組み合わせると、いろいろな形のかざりができそうだね。



問1 30°、60°、90°の同じ大きさの直角三角形を2まい組み合わせることができるのは、どんな形でしょうか。次の1から4までの中からすべて選びましょう。

- 1 平行四辺形
- 2 正三角形
- 3 ひし形
- 4 長方形

(正 答)

1、2、4すべてを解答しているもの

正答	解答類型	大阪府	豊中市
◎	1、2、4 と解答しているもの	3.6%	4.9%
○	2 1、2 と解答しているもの	1.2%	0.8%
○	3 1、4 と解答しているもの	10.9%	13.1%
○	4 2、4 と解答しているもの	8.7%	12.4%
○	5 1、2、4 のうち1つを解答しているもの	60.1%	54.1%
	6 3 と解答しているもの	7.4%	5.6%
	9 上記以外の解答	6.3%	7.0%
	0 無解答	1.9%	2.1%

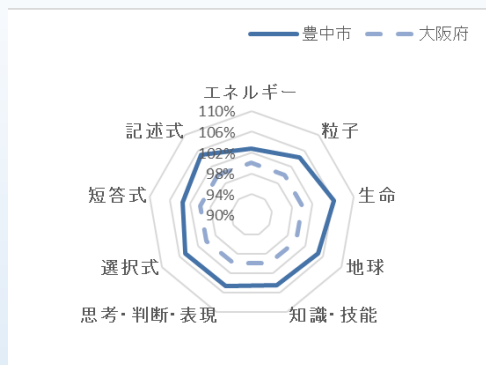
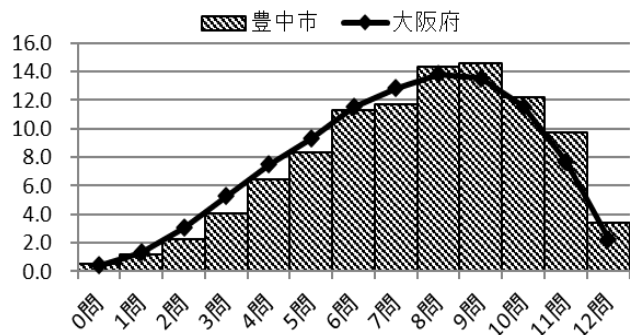
＜ 解説 ＞

解答類型5の割合が多いことから、1つの図形しかイメージできていないことが考えられます。また、解答類型3の割合が、解答類型2、4の割合よりも多いことから、斜辺どうしを合わせたり、図形を回したりして、2つの三角形を組み合わせることができる図形を想像することができなかったため、正三角形を見つけることができなかったと考えられます。

図形の学習では、図形の構成要素に着目して図形を捉えたり、図形の合成や分解、変形など図形の構成についての見方を動かしたりしながら説明することが大切です。また、実際に具体物を用いて図形の操作をしたり、ICTを使って図形の操作を試みるなどすると、図形のイメージがしやすくなります。

第5学年 理科

※横軸は児童の正答数
縦軸は児童の割合を
示しています。



分類	区分	平均正答率 (%)	
		大阪府	豊中市
学習指導要領の領域	エネルギー	56.8	58.4
	粒子	70.1	73.2
	生命	69.2	73.5
	地球	51.0	53.4
評価の観点	知識・技能	62.1	64.8
	思考・判断・表現	57.6	60.3
問題形式	選択式	61.0	63.9
	短答式	65.1	67.4
	記述式	47.9	50.4

- 水が蒸発することについて理解する問題（問1（3））については、概ね良好です。
- 直列つなぎと並列つなぎについて理解する問題（問2（3）①）については、課題が見られます。

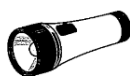
課題があった問題2（3）

■直列つなぎと並列つなぎについて理解する問題

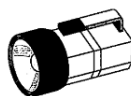
- ② あおいさんたちは、校外学習で防災センターに来て、火事などの災害から身を守る方法を学んでいます。

- (3) 次に、あおいさんたちは「防災グッズについて学ぼう」のコーナーに来ました。あおいさんは、そこで2種類の懐中電灯を見つけました。

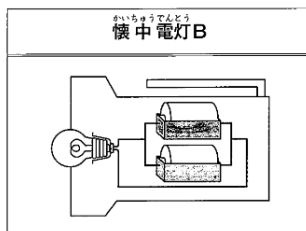
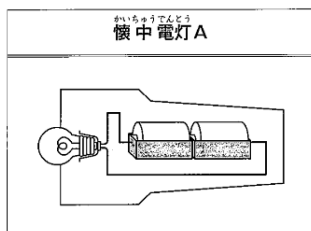
懐中電灯A



懐中電灯B



懐中電灯のしくみの図



※使っているかん電池と豆電球は同じものです。

この2種類の懐中電灯は、かん電池のつなぎ方がちがうみたいだね。
Aは つなぎ、Bは つなぎになっているんだね。



問い① 、 にあてはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

(正 答)

ア 直列 イ へい列

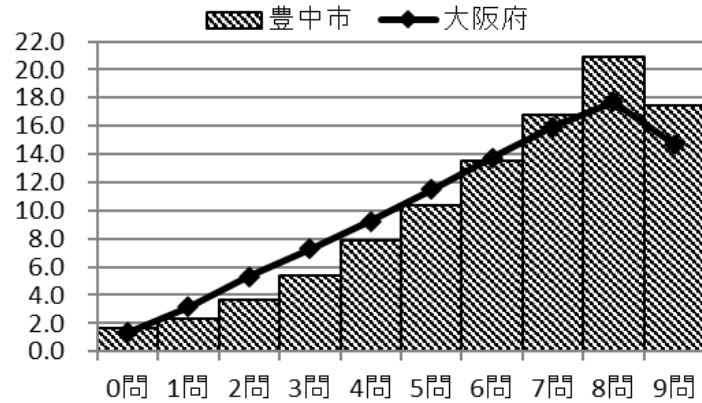
正答	解答類型	大阪府	豊中市
◎	1 直列 と解答しているもの	31.2%	30.0%
○	2 直列 と解答しているもの	21.5%	21.8%
○	3 上記以外の解答または、無解答	1.0%	1.0%
	9 上記以外の解答	34.2%	32.6%
	0 無解答	12.1%	14.6%

〈 解説 〉

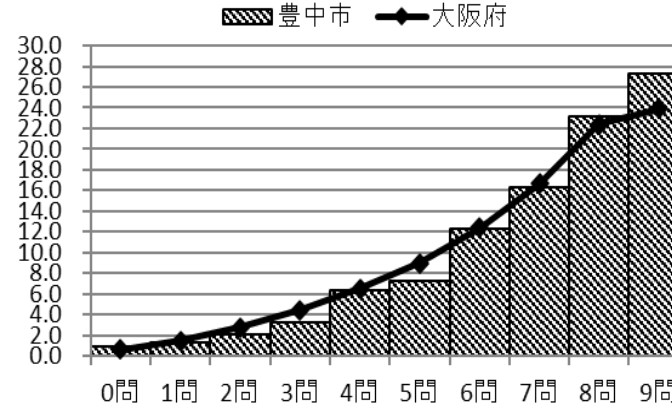
授業で学習した「直列つなぎ」と「へい列つなぎ」が、問題にあるような具体的な場面に結びついていないことが考えられます。また、無回答も多く、記述形式のため書くことをためらったことも考えられます。

学習指導要領では、電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子について考えたことを、「電流」「直列つなぎ」「並列つなぎ」という言葉を使用して説明する活動の充実を図ることが示されています。そのような活動をととして、理科で学習したことがらと普段の生活のことがらが結びつくようにすることが大切です。

第5学年 わくわく問題



第6学年 わくわく問題



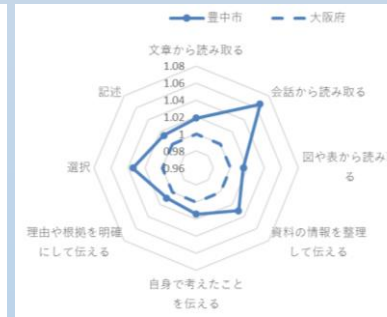
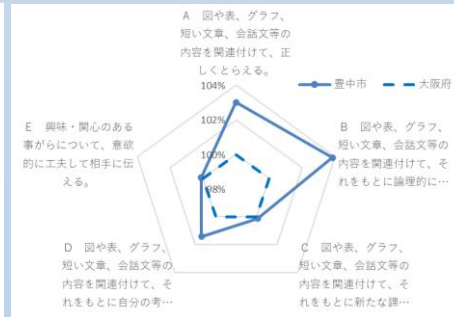
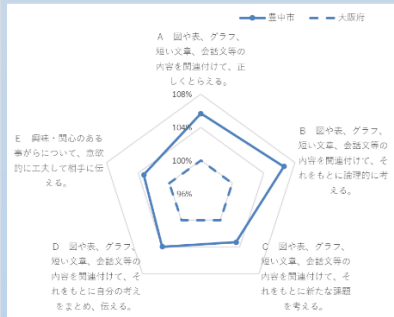
●わくわく問題は、第5学年と第6学年に同一問題で実施されました。

●第5学年は、地域で行われる防災訓練を題材とし、論理的に思考し問題を発見・解決していく力を問う問題のうち、表を使って分類し情報を整理する問題（問2（1））の正答率が概ね良好です。

●第6学年は、さまざまな社会的場面で活用されている「ナッジ」を題材として、会話の内容を適切に読み取る力などを問う問題（問3（1））において、正答率が概ね良好です。

●第5学年、第6学年ともに、複数の資料の内容を読み取り、資料から気づいたことと、より多くの人が防災訓練に参加するためにはどうすればよいかを考えて提案する問題（問2（3））については、課題が見られます。

●第5学年、第6学年ともにナッジの考えを理解したうえで、既存のアイデアを参考にしながら、自分なりのアイデアを、言葉や絵を使って具体的に説明する問題（問3（3））において、課題が見られます。



分類	区分	平均正答率 (%)			
		第5学年		第6学年	
		大阪府	豊中市	大阪府	豊中市
問題を とらえる	A 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる。	70.4%	74.4%	78.3%	80.7%
	B 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。	66.6%	71.0%	74.0%	76.9%
	C 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。	57.1%	59.0%	66.7%	66.7%
	D 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。	67.7%	70.4%	77.0%	78.1%
	E 興味・関心のある事について、意欲的に工夫して相手に伝える。	57.1%	59.0%	66.7%	66.7%
伝える	文章から読み取る	69.1%	72.3%	78.1%	79.6%
	会話から読み取る	57.4%	63.3%	64.6%	68.8%
	図や表から読み取る	69.3%	72.6%	78.2%	79.5%
	資料の情報を整理して伝える	67.7%	71.7%	76.2%	78.5%
問題形式	自身で考えたことを伝える	67.7%	70.4%	77.0%	78.1%
	理由や根拠を明確にして伝える	69.8%	72.2%	78.1%	78.9%
	選択	65.9%	70.3%	74.1%	76.7%
	図表	-	-	-	-
	記述	67.7%	70.4%	77.0%	78.1%

課題があった問題2（3）

■複数の資料の内容を読み取り、資料から気づいたことと、より多くの人が防災訓練に参加するためにはどうすればよいかを考えて提案する問題

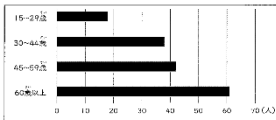
② 毎年、地域の人たちが中心となって行っている防災訓練に、今年ゆうさんたちの学校も参加します。ゆうさんたちのクラスは、「わたしたちの考える災害時の備え」について、発表や展示を行うことになりました。

(2) 防災訓練日は、ゆうさんたちの発表や展示も数多く見ることができました。ゆうさんたちは、地域の人々から「災害の参加者を増やすにはどうしたらいいかなってほしい」と本願いされました。次の資料2から資料5は、地域の人々からもらった資料の一部です。

資料2 【今年のプログラム】

時 間	プログラム
日時：2025年〇月〇日 土曜日 午前 8:30～12:00	
9:00～9:15	集合・開会式
9:15～9:30	防災学習ビデオ視聴
9:30～9:45	防災クイズ大会
9:45～10:00	防災学習ビデオ視聴
10:00～10:15	防災クイズ大会
10:15～10:30	防災学習ビデオ視聴
10:30～10:45	防災クイズ大会
10:45～11:00	防災学習ビデオ視聴
11:00～11:15	防災クイズ大会
11:15～11:30	防災学習ビデオ視聴
11:30～11:45	防災クイズ大会
11:45～12:00	防災学習ビデオ視聴

資料3 【今年の参加者数（前年度）】 ※小学・中学校から参加した人は除く



資料4 【参加者へのアンケート結果①】

～感想の一部～
初めて参加しました。チラシなどを見ないので、友人に誘われるまで、地域で防災訓練があるなんて全然知りませんでした。(15～29歳)
今年の防災訓練は、体験活動が多かったので、いつもより楽しみながら防災について学ぶことができました。でも、防災学習ビデオの内容が長くて飽きたので途中で退席しました。(30～44歳)
小学生の皆さんの発表や展示がどれも素晴らしかったです。今まで知らなかったこともわかってよかったです。(45～59歳)
防災に関する展示もあり、訓練のあとに時間をかけてじっくりと見ることでよかったと思います。(60歳以上)

資料5 【参加者へのアンケート結果②】

Q.参加してみたいと思うプログラムはありますか？
アンケートには回答した人から、参加したいと思う人が、参加したくないと思う人が、参加したくない理由を教えてください。

プログラム	参加したい人	参加したくない人	参加したくない理由
① 防災学習ビデオ視聴	◎	◎	◎
② 防災クイズ大会	▲	◎	◎
③ ハザードマップ(防災マップ)作り	◎	◎	▲
④ 防災について学ぶ学習ビデオ	▲	▲	◎
⑤ エアロゾルやPM2.5の測定など防災グッズの体験	◎	◎	▲



「わたしたちが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。」

① 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

② 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

③ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

④ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑤ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑥ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑦ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑧ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑨ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑩ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑪ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑫ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑬ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑭ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑮ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑯ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑰ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑱ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑲ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑳ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉑ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉒ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉓ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉔ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉕ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉖ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉗ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉘ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉙ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉚ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉛ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉜ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉝ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉞ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉟ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊱ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊲ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊳ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊴ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊵ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊶ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊷ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊸ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊹ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊺ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊻ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊼ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊽ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊾ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊿ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

② 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

③ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

④ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑤ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑥ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑦ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑧ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑨ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑩ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑪ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑫ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑬ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑭ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑮ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑯ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑰ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑱ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑲ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

⑳ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉑ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉒ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉓ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉔ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉕ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉖ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉗ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉘ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉙ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉚ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉛ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉜ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉝ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉞ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㉟ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊱ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊲ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊳ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊴ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊵ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊶ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊷ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊸ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊹ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊺ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊻ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊼ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊽ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊾ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

㊿ 0.わたしが考えたアイデアを『提案カード』にして、地域の人たちに届かせよう。

正答	解答類型	大阪府 5年	豊中市 5年	大阪府 6年	豊中市 6年
◎	1 条件①、②、③を満たして解答しているもの	56.1%	60.0%	69.8%	72.8%
○	2 条件①、②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	7.4%	6.8%	4.9%	3.7%
	9 上記以外の解答	32.7%	28.6%	23.2%	20.7%
	0 無解答	3.8%	4.6%	2.1%	2.7%

課題があった問題3（3）

■ナッジの考えを理解したうえで、既存のアイデアを参考にしながら、自分なりのアイデアを、言葉や絵を使って具体的に説明する問題

③ 学校が休みの日、みさきさんとあきどさんは、スーパーにお菓子を買いに行きました。

(3) みさきさんたちは、ナッジの考え方を活かした工夫や取り組みにもないか、探してみることにしました。次の【身の回りの工夫】は、みさきさんたちが、見つけた工夫をクラスのみんなに紹介するためにタブレット端末を使ってまとめたものです。

【身の回りの工夫】

【ねがい】 トイレをきれいに使してほしい
【工夫】 次のようなメッセージをトイレの見やすいところにはる。



【みんなの行動が変わる理由】
「『ありがとう』という感謝のメッセージにこたえられるように、よこぎすきれいに使おう」という気持ちになるから。

【ねがい】 使わないときは電気をこまめに消してほしい
【工夫】 電気を消すとニコニコの笑顔が見られるように、スイッチに顔のシールをはる。



【みんなの行動が変わる理由】
スイッチをオフすると笑顔が見られて、楽しくなるから。



「わたしたちの身の回りでも、みんなが気持ちよく過ごすために、こういう工夫がほしく思います。みんなのアイデアを考えて、みんなに提案してみようかな。」



「それは、いい考えだね。もうかきとるに歩いてもらう工夫や、スリッパをそろえてもらう工夫など、みんなに提案できることはたくさんあると思うね。」



「みんなが気持ちよく過ごすために、あなたならナッジの考え方を活かしたどんな工夫を提案しますか。次の【案】に合わせてかきましよう。これまでに紹介された例を参考にしてもかまいません。」



【案】①【ねがい】のらんに、みんなが気持ちよく過ごすために、みんなにしてほしいことを1つ書きましよう。
②【工夫】のらんに、【ねがい】をかなえるために、どうするかを言葉や絵を使ってかきましよう。
③【みんなの行動が変わる理由】のらんに、なぜその【工夫】でみんなの行動が変わるのかを文章で書きましよう。

正答	解答類型	大阪府 5年	豊中市 5年	大阪府 6年	豊中市 6年
◎	1 条件①、②、③を満たして解答しているもの	47.7%	50.1%	59.1%	59.0%
○	2 条件①、②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	9.5%	8.9%	7.5%	7.8%
	3 条件①を満たし、条件②、③を満たさないで解答しているもの	28.6%	25.4%	22.8%	22.0%
	9 上記以外の解答	3.5%	3.1%	2.6%	2.5%
	0 無解答	10.8%	12.5%	7.9%	8.8%

（ 正答の条件 ）

次の条件を全て満たして解答している。

- 【ねがい】に、みんなにしてほしいことを1つ書いている
- 【工夫】に、その【ねがい】をかなえるためにどうするかを書いている
- 【みんなの行動が変わる理由】に、なぜその【工夫】でみんなの行動が変わるのかを書いている

（ 正答例 ）

【願い】 教室やろうかのごみを拾って捨ててほしい
【工夫】 ごみ箱のふたの内側に、感謝のメッセージを書く。
【みんなの行動が変わる理由】 ふたの内側のメッセージを見て、うれしくなって、またごみ箱の中にゴミを捨てようと思うから。

〈 解説 〉

複数の資料を比較し、関連付けて考察することに慣れていないことや問題点を見つけて解決策を考えたり、理由を詳しく説明したりすることが苦手であることなどが考えられます。

普段からニュースや身近なできごとなどを話題にして、問いを立てて考える習慣をつけたり、自分ならどうするかを考える機会を持ったりすることが大切です。

〈 解説 〉

類型3から、【ねがい】は考えられたが、それに対する工夫と理由を整理して、使う人の立場を考えて提案することに慣れていないことが考えられます。

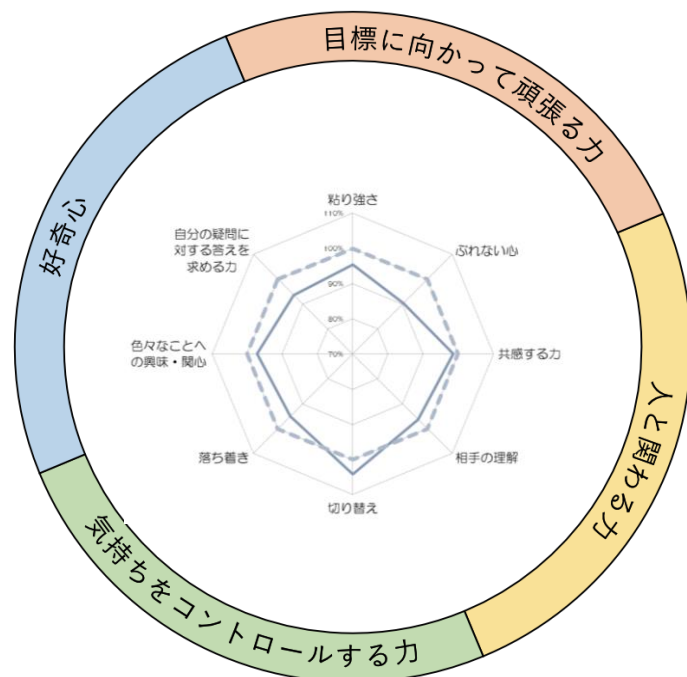
アイディアを提案する場面で、工夫と理由を分けて図や絵や言葉で整理したりいろいろな人の立場に立って考えたりすることが大切です。

児童アンケート結果から

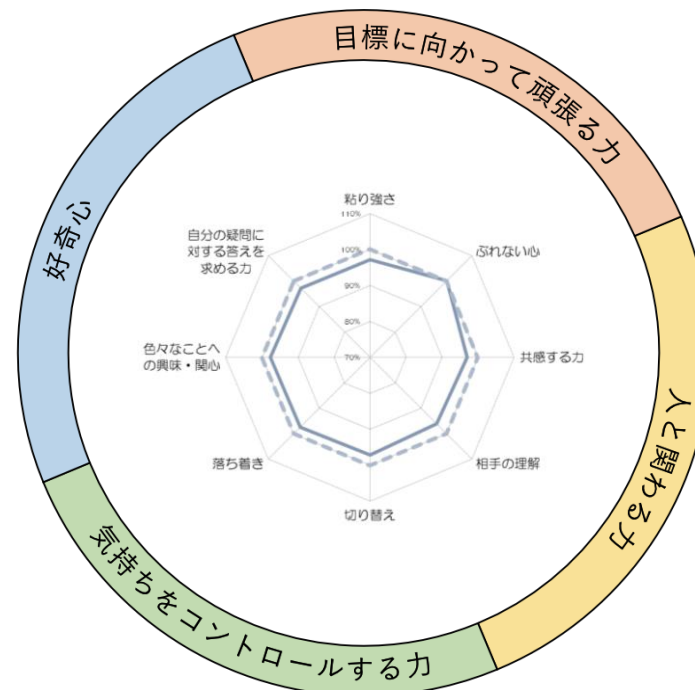
児童アンケート結果では、目標に向かって頑張る力・人と関わる力・気持ちをコントロールする力の「未来に向かう力」と「好奇心」の項目平均（当てはまる・どちらかといえ
ば当てはまるの合計）から、豊中市の特徴をまとめています。



5年生



6年生



—— 豊中市 - - - 大阪府

- 第5学年は、気持ちをコントロールする力の「切り替え」が他の項目と比べて、大阪府より高い結果となっています。目標に向かって頑張る力の「ぶれない心」が他の項目と比べて、低い結果となっています。
- 第6学年は、目標に向かって頑張る力の「ぶれない心」が他の項目と比べて、高い結果となっています。

※このテスト及びアンケート結果は、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。

